

現地踏査活動

ときがわの森 (埼玉県)

平成19年
植樹

- ・植栽したヒノキ・クスギ・コナラが順調に育っている。
- ・ヒノキエリアは枝が混み合い、林内が暗くなっている為、枝打ちのボランティアを今年度実施する予定としていた。(⇒あいにくの天候により雨天中止。)



↑入口付近のクスギ
(歩道もある)



↑奥のヒノキ(枝が混み
合い暗くなっている)

木都城の森 (宮崎県)

平成5年
植樹

- ・大部分は急斜面だが沢沿いや中央から奥にかけて平坦な部分がある森で、林内に適度な光が射す美しいスギ林。
- ・5~10年後に実施予定の間伐では、間伐した木が活用されるまでに成長していることが期待される森。



↑スギの状況



↑斜面が急

賀茂の森 (広島県)

平成5年
植樹

- ・ヒノキは直径12~16cm、樹高6~8mで、林齢24年としては、成長はやや低調。
- ・今後はボランティア等で、成長のよくない木やシカ被害にあった木などの整理を続けることによって、健全なヒノキ林が出来上がっていくことを期待。



↑スギの状況



↑シカの食痕 新しい
ものが多い

木城の森 (宮崎県)

平成10・11年
植樹

- ・林道を挟んで北側にスギとヒノキの針葉樹を、南側にイチイガシを中心とした広葉樹を植えた森。
- ・スギ、ヒノキ、イチイガシの残存率は高く、成長も順調。
- ・植栽木の間にクスノキやイチイガシが自然発生。



↑イチイガシの状況



↑ヒノキの状況

富士の森 (静岡県)

平成5年
植樹

- ・富士山の麓に広がる台風被害跡地で、平成5年から森づくりを開始し、現在は10か所、約19haまで拡大。
- ・厳しい自然条件に加えネズミやシカの食害が発生し、多くの箇所では補植や改植を実施しているが、現在は10m前後の立木になっている箇所もある。



↑富士の森
③④⑥回地の全景



↑富士の森⑧回地
平成28年改植エリア

鱈頭の森 (宮崎県)

平成18年
植樹

- ・植栽したヒノキが順調に生育している森。
- ・コナラ、イチイガシの残存率は、ヒノキよりやや劣るが大きなギャップは見られない。
- ・アカマツ、コジイ、タブノキなどが侵入し、植栽木と同様の大きさに成長。



↑コナラの状況



↑ヒノキの状況

熱海の森 (静岡県)

平成6年
植樹

- ・ヒノキ、ケヤキともに高い残存率で成長。ケヤキの下には下層植物が繁茂。
- ・熱海駅から車で20分、林道も5分程度とアクセスも良い。
- ・今年度、間伐のボランティアを11月に実施する予定。(平塚支社主催と東京本部主催の2日間実施)



↑ヒノキの状況
(11月のボランティアエリア)



↑関係者で選木

田野の森 (宮崎県)

平成13年
植樹

- ・植栽木は針葉樹、広葉樹ともに高い残存率で順調に成長。タブノキは成長状況に差が見られる。
- ・沢沿いの斜面には、ヤマザクラが多数残存。
- ・立木の密度が高いので、今後施業等で本数を調整する必要。



↑斜面に広がる
ヤマザクラの状況

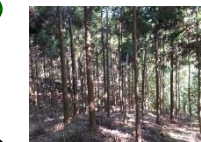


↑タブノキの状況

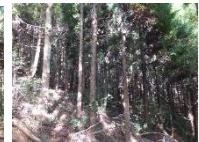
大多喜の森 (千葉県)

平成7年
植樹

- ・これまで除伐等の保育の結果、適度に陽が射し込み成長の良い森になっている。
- ・スギは、樹高20m、直径20~26cmに生育してきており、今後の施業は5~10年後に1回目の間伐を予定。



↑スギの状況



↑急斜面となった尾根
部分も成長はよい

いわきの森 (福島県)

平成7年
植樹

- ・スギは適度な密度の森に育っている。
- ・サクラの部分は、H15の道路改修工事の影響で一部を契約解除しており、数本が残存。
- ・林内の下層植生はノコンギク、ヤクシソウなど多様な草本植物がみられる。



↑スギの状況



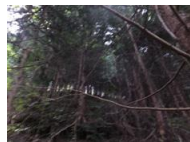
↑送電線の脇のサクラ

現地踏査活動

森 埴の森 (福島県)

平成13年
植樹

- ・沢に沿って細長く伸びる森。
- ・スギとヒノキは残存率が高く成長も良好で、ケヤキとヤマザクラは半数程度が残存。
- ・沢の周辺にはタマアジサイ、タカノツメなどが繁茂。



↑ヒノキの状況



↑ケヤキと沢周辺の
植生

森 里美の森 (茨城県)

平成5・6年
植樹

- ・ヒノキ、スギともに順調に成長。
- ・林内に下層植生はほとんどないが、H27に除伐したので、今後は侵入があるものと期待。
- ・下層植物はノリウツギ、ツルアジサイなど。



↑ヒノキの状況



↑スギの状況

森 大子の森 (茨城県)

平成14年
植樹

- ・林道を挟んで西側にはヒノキ、ヤマザクラとヤチダモを、東側にはヒノキとヤマザクラを植栽。
- ・ヒノキとヤマザクラは残存率が高く、成長も良好。ヤチダモは湿地の中に残存。
- ・林道西側の湿地箇所には、ヌルデ、ホウノキ、バッコヤナギ、クマヤナギなど多様な草本植物が繁茂。



↑ヤマザクラの状況



↑ヤチダモの状況

森 常陸太田の森 (茨城県)

平成22年
植樹

- ・植栽したヒノキとクヌギは残存率が高く、樹高2m～3m程度に生育。
- ・作業道の路面には、ススキのほかサルナシ、ヤナギ、アセビ、ホトツジ、アカマツ、アカメガシワなどが発生。



↑ヒノキの状況



↑クヌギの状況